

五味堀餅搗き踊り



踊りは、青森県下北半島の東通村の田植え餅搗き踊りがルーツとされ、今から約100年前に五味堀集落に伝わった、といわれています

福田獅子舞

大人と同じように獅子を導くささら役の子。後継者育成も保存会の重要な活動の一つ

米代川、阿仁川流域の集落には、共通した流れを汲む獅子や駒踊り、奴踊りといった芸能が伝えられています。これらは、初代秋田藩主・佐竹義宣侯が常陸から秋田へ国替えを命じられたときに、家臣が主君や武将の士気を鼓舞するために演じた道中芸がルーツとされています



米内沢共勇会獅子踊り（演目は駒踊り）



今泉駒踊り

獅子踊りは悪疫や災難を払う神事舞。綴子の獅子踊りはダイナミックな躍動感が特徴です



綴子上町獅子踊り



軽妙なささらと、獅子の動きに合わせ演奏されるお囃子



その昔、風張村と呼ばれた阿仁吉田地区の歴史を伝える創作太鼓。中学生が主体となって地域のイベントなどで発表されています



阿仁吉田かざはり太鼓



阿仁鉱山の女工が辛い労働の疲れを癒すための作業歌として踊り継がれて来た「阿仁からめ節」。「からめ」とは、掘り出された鉱石を金づちで叩いて細かく選鉱する作業のこと。阿仁鉱山全盛の頃の女性の姿を思い起こさせます

阿仁からめ節

郷土色豊かな各地区の芸能を披露

第3回北秋田市民俗芸能大会

第3回北秋田市民俗芸能大会が8月31日、市文化会館で開催され、満場の観衆が郷土色豊かな芸能の数々を楽しみました。市内で演じられている芸能を一堂に集めて市民に公開し、民俗芸能への理解と関心を深め、保存・伝承につなげることを目的として開催されているもので、今年の大会には、各地区から7団体が出演しました。

オープニングで登場したのは、森吉・五味堀集落に伝わるユニークな芸能「餅搗き踊り」。餅搗き役（歌い手）と合い取り役の女性を円陣の中心に据え、もちつきおどりはめでたいな、郷土で名高い森吉山...と、調子の良い囃子に合わせ、女性と子供の演じ手約30人ほどが扇子をかざしながら輪になって歩を進める独特の踊りが会場を魅了しました。また、出演者から会場に紅白の餅が振舞われ、大きな歓声が上がっていました。また、3番手に登場したのは米内沢共勇会による「駒踊り」。共勇会獅子踊りは、参勤交代を模した行列、奴、駒獅子踊りなどで構成され、駒踊りは、徳川家康の長男、岡崎城夫（三郎信康）の出陣、乱戦などの場面を芸能化したものといわれています。観衆は、合戦で戦う様を表現する勇壮な踊りに、大きな拍手を送っていました。このほか、約700年の伝統を持つ綴子上町獅子踊り、市指定無形民俗文化財の福田獅子舞、一時途絶えたものの青年会のふるさと運動が契機となって復活した今泉駒踊り、300年前から踊り継がれてきた、といわれる阿仁からめ節、その昔風張村と呼ばれていた阿仁吉田集落の歴史を伝える創作太鼓・阿仁吉田かざはり太鼓が次々と披露されました。満場の観衆は、郷土色豊かな各地区の芸能の数々をたっぷり堪能していました。